



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 大
コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋健一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 吉野弘一 (TEL) 06-6532-4101
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,819	0.6	80	26.6	72	21.4	68	19.4
24年3月期第3四半期	4,792	△5.6	63	△24.9	59	△34.5	57	△0.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.10	—
24年3月期第3四半期	0.92	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,416	1,810	33.4
24年3月期	5,407	1,779	32.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,810百万円 24年3月期 1,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	5.0	80	8.8	70	19.1	60	3.5	0.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	62,280,394株	24年3月期	62,280,394株
25年3月期3Q	95,512株	24年3月期	95,032株
25年3月期3Q	62,185,346株	24年3月期3Q	62,186,270株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ(3)「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）継続企業の前提に関する注記	8
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が牽引となり、景気が緩やかに持ち直してきました。しかしながら、欧州の財政金融不安に伴う海外経済の減速、中国をはじめとした新興国の成長鈍化及び円高の長期化等により弱含みで推移しました。年末に近づき、円高是正、株高の影響等により明るい兆しが見えてきましたが、実態経済の本格的な回復に繋がっていくのか不透明な状況にあります。

このような経営環境の下、当社は、輸出の落ち込みを輸入でカバーする等の動きにより、当第3四半期累計期間の営業収入は前年同期比+27,824千円（+0.6%）の4,819,921千円となりました。

当社は、採算性の低い貸借施設の返還や人件費の圧縮等により損益分岐点を下げた財務体質を引き続き維持しており、営業利益、経常利益で黒字を確保できました。また、株式市況の低迷により、第1、第2四半期累計期間では投資有価証券評価損を特別損失として計上しておりましたが、当第3四半期累計期間におきましては、株式市況の回復により、投資有価証券評価損は計上しておりません。

以上の結果、当第3四半期累計期間の営業利益は80,195千円、経常利益は72,790千円、四半期純利益は68,674千円となりました。前第3四半期累計期間と比較しますと、営業利益、経常利益、四半期純利益は、それぞれ16,864千円（+26.6%）の増加、12,832千円（+21.4%）の増加、11,165千円（+19.4%）の増加となっております。

各セグメントの業績の状況は次の通りであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、4,620,128千円（前年同期比+2.9%）で、全セグメントの95.8%を占めております。セグメント利益（営業利益）は、309,023千円（前年同期比△1.4%）を計上いたしました。円高の長期化による輸出の低迷はありましたが、輸入は堅調に推移したこと等に起因しております。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、営業収入は、191,036千円（前年同期比△34.8%）で、全セグメントの4.0%を占めております。セグメント損失（営業損失）は、10,122千円（前年同期比 - %）となりました。海上コンテナ輸送の低迷が響いております。

③その他

当セグメントにおきましては、営業収入は、8,755千円（前年同期比+4.4%）で、全セグメントの0.2%を占めております。セグメント利益（営業利益）は、8,649千円（前年同期比+8.6%）を計上いたしました。海上保険収入の堅調な動きが寄与しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、3,196,104千円となりました。前事業年度末比66,386千円（2.0%）減少しております。これは現金及び預金の減少113,183千円、立替金の増加28,390千円、営業未収入金の増加14,782千円等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は、2,215,373千円となりました。前事業年度末比74,505

千円（3.5%）増加しております。これは平成25年4月から稼働予定の自社新システムのソフトウェア仮勘定（無形固定資産その他に計上）の増加89,900千円、トラクター、フォークリフト売却等による車両運搬具の減少22,453千円等によるものです。

（繰延資産）

当第3四半期会計期間末における繰延資産は、4,597千円になりました。前事業年度末比700千円（18.0%）増加しております。これは社債発行費の増加4,597千円、株式交付費の償却による減少3,896千円によるものです。

（流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、2,080,115千円となりました。前事業年度末比9,342千円（0.4%）減少しております。これは未払金の減少35,411千円、1年内返済予定の長期借入金の減少25,731千円、賞与引当金の減少24,794千円、1年内償還予定の社債の増加62,100千円、短期借入金の増加23,500千円等によるものです。

（固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債は1,525,779千円となりました。前事業年度末比12,472千円（0.8%）減少しております。これは長期借入金の減少266,777千円、社債の増加207,900千円等によるものです。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は1,810,180千円となりました。前事業年度末比30,633千円（1.7%）増加しております。これは繰越利益剰余金の増加68,674千円、その他有価証券評価差額金の減少38,029千円等によるものです。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年5月10日の「平成24年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

当第3四半期累計期間は、営業利益80百万円、経常利益72百万円、四半期純利益68百万円を計上しており、すでに通期業績予想の営業利益80百万円、経常利益70百万円、四半期純利益60百万円に近い数字になっておりますが、日本の正月、中国の旧正月の影響による1～2月の業績の落ち込みを織り込んでおります。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法と比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,074,655	1,961,472
受取手形	8,763	3,465
営業未収入金	776,826	791,609
立替金	344,212	372,603
その他	69,204	70,432
貸倒引当金	△11,172	△3,479
流動資産合計	3,262,490	3,196,104
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	212,281	205,831
構築物（純額）	2,712	2,592
機械及び装置（純額）	25,754	20,929
車両運搬具（純額）	80,896	58,443
工具、器具及び備品（純額）	10,724	11,290
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	36,938	30,578
建設仮勘定	—	4,500
有形固定資産合計	945,491	910,350
無形固定資産		
のれん	418,965	398,017
その他	15,820	99,438
無形固定資産合計	434,786	497,455
投資その他の資産		
投資有価証券	602,125	611,610
差入保証金	92,633	93,211
その他	386,290	405,652
貸倒引当金	△320,457	△302,905
投資その他の資産合計	760,590	807,568
固定資産合計	2,140,868	2,215,373
繰延資産		
株式交付費	3,896	—
社債発行費	—	4,597
繰延資産合計	3,896	4,597
資産合計	5,407,255	5,416,075

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	55,264	53,475
営業未払金	515,251	509,132
短期借入金	558,000	581,500
1年内償還予定の社債	—	62,100
1年内返済予定の長期借入金	682,319	656,588
未払金	92,701	57,290
未払法人税等	12,000	7,948
賞与引当金	33,800	9,006
その他	140,121	143,075
流動負債合計	2,089,457	2,080,115
固定負債		
社債	—	207,900
長期借入金	1,274,600	1,007,822
退職給付引当金	187,569	197,016
その他	76,082	113,040
固定負債合計	1,538,251	1,525,779
負債合計	3,627,709	3,605,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,534	433,506
資本剰余金合計	747,838	747,810
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,199,674	△1,131,000
利益剰余金合計	△1,193,818	△1,125,144
自己株式	△10,381	△10,364
株主資本合計	1,938,037	2,006,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△158,490	△196,520
評価・換算差額等合計	△158,490	△196,520
純資産合計	1,779,546	1,810,180
負債純資産合計	5,407,255	5,416,075

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収入	4,792,096	4,819,921
営業原価	4,434,903	4,512,371
営業総利益	357,192	307,550
販売費及び一般管理費	293,861	227,354
営業利益	63,331	80,195
営業外収益		
受取利息	235	151
受取配当金	12,751	13,204
貸倒引当金戻入額	1,061	—
雑収入	23,009	25,950
営業外収益合計	37,057	39,306
営業外費用		
支払利息	40,284	40,960
社債発行費償却	—	413
貸倒引当金繰入額	—	1,754
雑損失	147	3,583
営業外費用合計	40,431	46,712
経常利益	59,957	72,790
特別利益		
固定資産売却益	1,599	1,763
投資有価証券売却益	609	—
特別利益合計	2,209	1,763
特別損失		
固定資産売却損	50	448
固定資産除却損	4	255
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	56	703
税引前四半期純利益	62,109	73,850
法人税、住民税及び事業税	4,601	5,176
法人税等合計	4,601	5,176
四半期純利益	57,508	68,674

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。